

NY マーケットレポート (2015 年 12 月 14 日)

NY 市場では、欧米の株価が軟調な動きとなったことや、原油価格が一時 1 バレル＝34.53ドルまで下落し、2009 年 2 月以来、約 6 年 10 カ月ぶりの安値を更新したことを受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、比較的安全とされる円を買ってドルを売る動きが先行した。その後は、原油価格が 2 ドル以上の反発となったことや、株価がプラス圏まで上昇したことから、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ユーロは、序盤対ドルで上昇し、対円でも堅調な動きとなったものの、その後ドルが反発する動きとなると、ユーロ/円は上値の重い動きとなった。

2015/12/14 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	121.26	121.36	120.65
EUR/JPY	132.90	133.12	132.49
GBP/JPY	184.04	184.56	183.37
AUD/JPY	87.43	87.46	86.51
EUR/USD	1.0963	1.0994	1.0954

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	121.35	120.70
EUR/JPY	133.04	132.46
GBP/JPY	184.19	182.48
AUD/JPY	87.60	86.84
EUR/USD	1.0992	1.0946

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	18883.42	-347.06
ハンセン指数	21309.85	-154.20
上海総合	3520.67	+86.09
韓国総合指数	1927.82	-20.80
豪ASX200	4928.60	-100.85
インドSENSEX指数	25150.35	+105.92
シンガポールST指数	2815.04	-19.59

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	5874.06	-78.72
仏CAC40	4473.07	-76.49
独DAX	10139.34	-200.72
ST欧州600	349.54	-6.25
西IBEX35指数	9428.50	-202.20
伊FTSE MIB指数	20506.56	-508.73
南ア 全株指数	48081.71	+14.18

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	121.04	121.05	120.36
EUR/JPY	132.98	133.24	132.45
GBP/JPY	183.25	183.26	182.14
AUD/JPY	87.63	87.72	86.94
NZD/JPY	81.84	81.90	81.38
EUR/USD	1.0988	1.1049	1.0965
AUD/USD	0.7240	0.7271	0.7200

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17368.50	+103.29
S&P500	2021.94	+9.57
NASDAQ	4952.23	+18.77
日経225 (CME)	18765	+85
🇨🇦 トロント総合	12695.49	-94.46
🇧🇷 ボルサ指数	41901.96	-98.67
🇧🇷 ボベスパ指数	44747.31	-515.41

12/15 経済指標スケジュール

09:30	【豪】豪中銀 議事録
09:30	【豪】3Q住宅価格指数
14:00	【シンガポール】10月小売売上高
16:00	【南ア】10月景気先行指数
17:00	【トルコ】9月失業率
17:15	【スイス】11月生産者輸入価格
17:30	【スウェーデン】政策金利発表
18:00	【ノルウェー】貿易収支
18:30	【英】10月ONS住宅価格
18:30	【英】11月生産者物価指数・11月消費者物価指数
18:30	【英】11月小売物価指数
18:30	【英】11月生産者仕入価格・11月生産者出荷価格
18:30	【南ア】3Q非農業部門雇用者
19:00	【欧】3Q雇用者数
19:00	【欧】【独】12月ZEW景況感調査
22:00	【ポーランド】11月消費者物価指数
22:30	【米】11月消費者物価指数
22:30	【米】12月ニューヨーク連銀製造業景気指数
22:30	【カナダ】10月製造業出荷
23:00	【カナダ】11月中古住宅販売件数
00:00	【米】12月NAHB住宅市場指数
06:00	【米】10月対米証券投資

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1063.40	-12.30
NY 原油	36.31	+0.69
CMEコーン	379.00	+3.75
CBOT 大豆	876.00	+2.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.95%	0.89%
3年債	1.25%	1.17%
5年債	1.65%	1.57%
7年債	2.01%	1.93%
10年債	2.22%	2.14%
30年債	2.96%	2.89%

12/15 主要会議・講演・その他予定

・米FOMC (～16日)

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

22:00

ドル/円 120.77 ユーロ/円 132.51 ユーロ/ドル 1.0973

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	5953.10	+0.32	ダウ 先物ミニ	17133	-46
仏 CAC40	4528.96	-20.60	S&P 500 ミニ	1998.00	-3.25
独 DAX	10249.02	-91.04	NASDAQ 100 ミニ	4521.00	-11.50

(出所: SBILM)

22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月ポーランド経常収支 -1.13 億 PLN (予想 -5.95 億 PLN・前回 -9.59 億 PLN)

10月ポーランド貿易収支 4.83 億 PLN (予想 -1.56 億 PLN・前回 0.87 億 PLN)



(出所: ブルームバーグ)



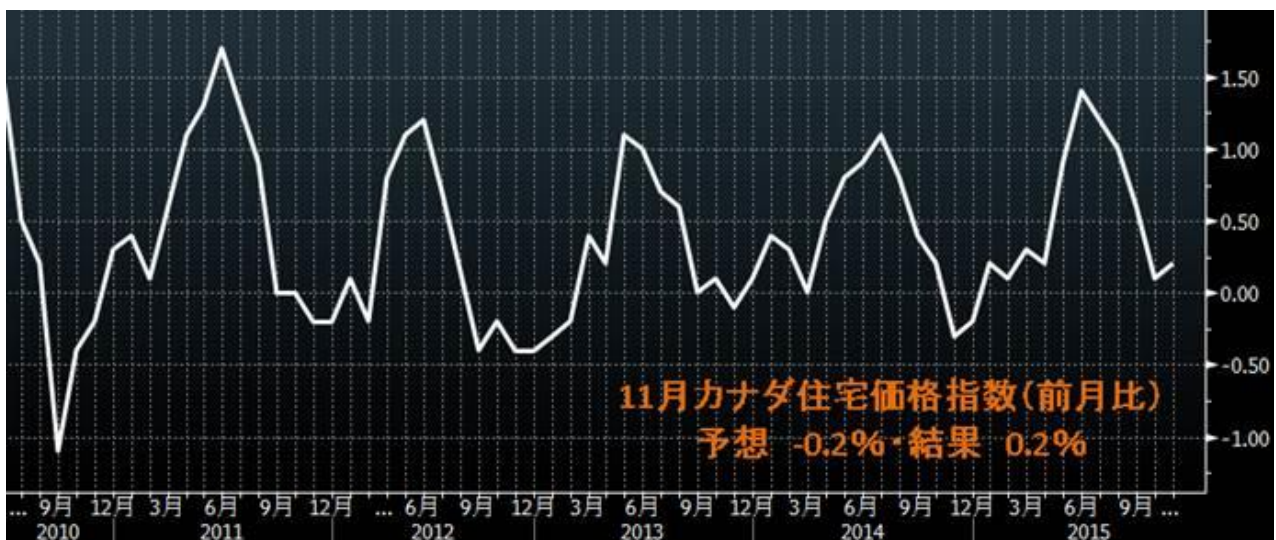
(出所：ブルームバーグ)

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

11月カナダ住宅価格指数（前月比） 0.2%（予想 -0.2%・前回 0.1%）

11月カナダ住宅価格指数（前年比） 6.1%（予想 5.5%・前回 5.6%）



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17280.28	+15.07
ナスダック	4933.58	-0.11

(出所：SBILM)

0 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、前週に大きく売られた反動から、割安感の出た銘柄を中心とした買いが入る一方で、原油相場が軟調に推移していることを嫌気した売りも出るなど、主要株価は序盤から売買が交錯する動きが続いている。

ECB 公的部門購入プログラム

12月11日・12月4日・11月27日・11月20日・11月13日・11月6日

公的部門・・・4755.1・・・4619.1・・・4454.4・・・4317.1・・・4191.4・・・4065.7

資産担保証券 ABS・・・154.3・・・153.4・・・152.0・・・149.7・・・148.1・・・147.5

カバード債・・・1418.2・・・1399.2・・・1378.2・・・1356.9・・・1341.4・・・1325.2

(億ユーロ)

《 海外の話題 》

先週、ズマ南ア大統領がゴードン氏の後任だったヌシュランシュラ・ムサ・ネネ氏を突然解任し、デービッド・ファンルーエン氏を新財務相に指名。これを受けて、市場は大統領の経済監督能力を疑問視し、南ア・ランドは大きく下落する動きとなった。このことから、財界は与党・アフリカ民族会議の幹部らが新財務相人事を大統領に見直すように迫った。

その結果、南アフリカ共和国の財務相には、元財務相だったブラビン・ゴードン氏が再起用された。ゴードン氏は、同国の財政支出の上限は「極めて神聖だ」と強調し、金融市場の信頼回復に努めた。ゴードン氏が財務相に復帰したことが材料視され、南ア・ランドは一段高となった。

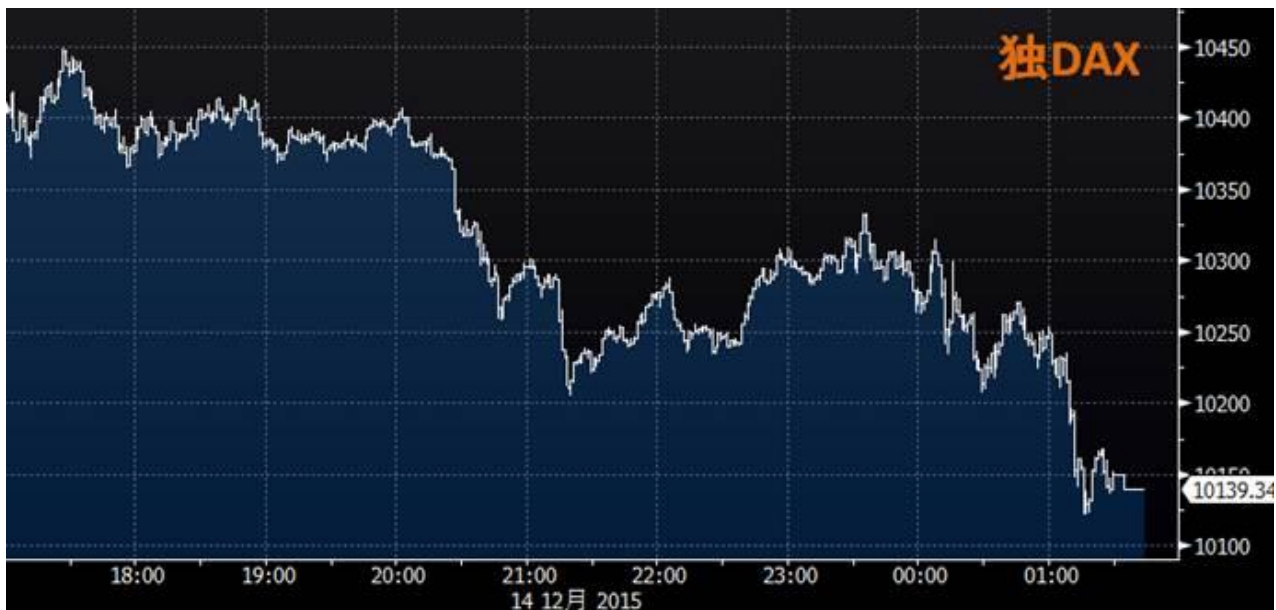
この日就任したゴードン財務相は声明で「先週起きた展開とそれへの金融市場の反応は知っての通りだ」とし、「これが南ア経済に投資する者に与えた影響を政府は十分認識している。ズマ大統領が示唆したように、ある決定がこのような展開を引き起こした場合、意見に耳を傾け適切に対応する責任が民主的な政府にはある」と語った。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	5874.06	-78.72
仏 CAC40	4473.07	-76.49
独 DAX	10139.34	-200.72
ストック欧州 600 指数	349.54	-6.25
ユーロファースト 300 指数	1371.76	-25.73
スペイン IBEX35 指数	9428.50	-202.20
イタリア FTSE MIB 指数	20506.56	-508.73
南ア アフリカ全株指数	48081.71	+14.18

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、序盤は比較的堅調な動きとなったものの、原油価格が一段の下落となったことや、FOMC で利上げが決定されるとの思惑も圧迫材料となり、主要株価は大きく下落する動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17220.12 (-45.09)、S&P500 1997.78 (-14.59) ナスダック 4896.38 (-37.08)

《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、主要な米経済指標の発表がなく手掛かり材料が乏しい中、前週末に大幅上昇した反動で一旦利益を確定させる売りが先行した。FOMC で利上げが決まるとみられていることも、国債の売りを促した。

午前の利回りは、30 年債が 2.93%（前週末 2.88%）、10 年債が 2.19%（2.13%）、7 年債が 1.97%（1.91%）、5 年債が 1.61%（1.56%）、3 年債が 1.22%（1.16%）、2 年債が 0.93%（0.88%）。

《 欧州債券市場 》

欧州債券市場は、今年最後の米 FOMC を週内に控えて警戒感が広がり、ユーロ圏の国債が軒並み値下がりとなった。特に、スペインとイタリアの国債の値下がりが目立ち、スペインの 2 年債利回りは 10 月初旬以来の高水準に達した。欧州債の指標とされるドイツ 10 年債の利回りは、前週末比 3bp 上昇の 0.57%。スペイン 10 年債利回りは、10bp 上昇の 1.73%、2 年債利回りは 3bp 上昇の 0.09%。イタリア 10 年債利回りも 10bp 上げて 1.64%となった。

4 : 40

NY 金は、中心限月が前週末比 12.30 ドル安の 1 オンス＝1063.40 ドルで取引を終了した。

5 : 20

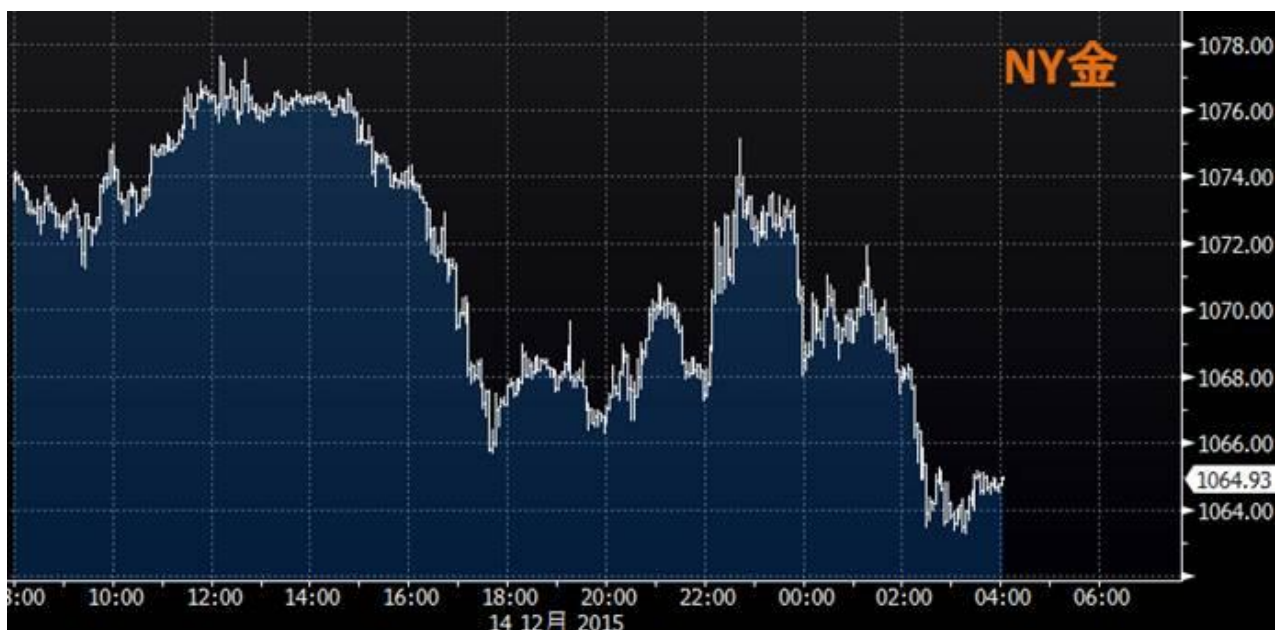
NY 原油は、中心限月が前週末比 0.69 ドル高の 1 バレル＝36.31 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1063.40	-12.30
NY 原油	36.31	+0.69

(出所：SBILM)

《 NY 金市場 》

NY 金は、今週の米 FOMC で利上げが決まるとの見方が強く、金を売る動きが優勢となった。また、ドルが主要通貨に対して下げ幅を縮小したことから、ドルの代替資産としての需要の後退も圧迫要因となった。



(出所：ブルームバーグ)

<< NY 原油市場 >>

NY原油は、世界的な供給過剰に加え、米国などの暖冬の影響で暖房油の需要が鈍化していることが材料視されて売りが先行し、一時は1バレル=34.53ドルまで下落し、2009年2月以来、約6年10ヵ月ぶりの安値を更新する動きとなった。ただ、その後は最近の相場下落は行き過ぎとの見方が広がり、買い戻しが優勢となった。

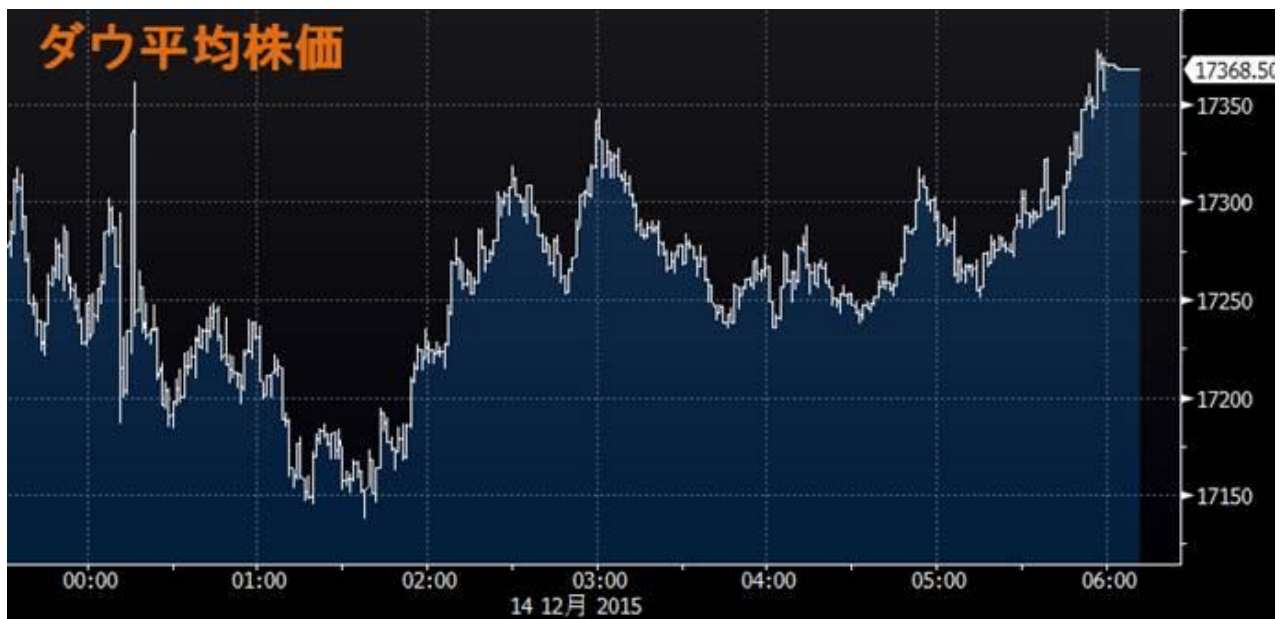


主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17368.50	+103.29	17378.02	17138.47
S&P500 種	2021.94	+9.57	2022.92	1993.26
ナスダック	4952.23	+18.77	4953.60	4871.59

(出所：SBILM)

<< 米株式市場 >>

米株式市場は、前週に大きく売られた反動から、割安感の出た銘柄を中心とした買いが入る一方で、原油相場が軟調に推移していることを嫌気した売りも出るなど、主要株価は序盤から売り買い交錯する動きとなった。その後は、一段の下げとなったものの、終盤にはプラス圏まで値を戻す動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	121.04	121.05	120.36
EUR/JPY	132.98	133.24	132.45
GBP/JPY	183.25	183.26	182.14
AUD/JPY	87.63	87.72	86.94
NZD/JPY	81.84	81.90	81.38
EUR/USD	1.0988	1.1049	1.0965
AUD/USD	0.7240	0.7271	0.7200

(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、原油価格や株価の下落を受けて、序盤はドル円・クロス円はやや軟調な動きとなった。その後は、原油価格が大きく反発したことや、株価がプラス圏まで値を戻す動きとなったことから、終盤には値を戻す動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。